



Contents

- P2 男子バレーボール部をVプレミアリーグJTサンダース選手2名が指導！／歌を通して献血を呼びかける女子大生デュオがインディーズデビュー！
- P3 特集「活躍する卒業生」
- P4 進化する大学祭！！

- P5 SSPプログラム2008年度認定企画「中間報告会」を開催！！／中国新聞ホームページでキャンパスリポーターが活躍中！！／「禁煙推進・マナー向上」キャンペーンを実施！
- P6-7 広国大Information
- P8 CAMPUS掲示板

常翔学園 **Hiü** 広島国際大学
Hiroshima International Univ.

建学の精神 世のため、人のため、地域のために
「理論に裏付けられた実践的技術を持ち、現場で活躍できる専門職業人の育成」を行いたい。
時代と地域が求める真のフィールド・スペシャリストを育成する使命と情熱。

本学の目的 広島国際大学は、時代の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教育研究し、深い教養と豊かな人間性を備えた健全な有為の人材を育成し、もって国際社会の発展と学術・文化の向上に貢献することを目的とする。

教育の理念 本学における教育は、豊かな人間性と命の尊厳を基本とする。この理念に基づき、新しい時代が求める専門的な知識と技術の習得を進めるとともに、健康、医療、福祉、そして生活の分野において必要とされる環境、工学、情報の各領域で活躍しうる職業人を養成する。もって、地域社会と国際社会に貢献し、人類への奉仕に寄与する。



男子バレーボール部を Vプレミアリーグ JTサンダース選手2名が 指導!

9月27日(土)東広島キャンパスにイタリアブリーグセリエAでも活躍された元全日本代表の加藤選手と元全日本代表リベロの酒井選手が、本学男子バレーボール部の指導のため来学されました。これは、広島FMの番組「We Love Thunders!」(毎週木曜日20:00～20:55放送)に、本学男子バレーボール部のマネージャーが「今期から1部リーグに昇格するので、ぜひ指導をお願いしたい。」と懇願し、実現したものです。

当日は、ボールコントロールの方法や実際に加藤選手の打つスパイクをレシーブし、そのレシーブフォーメーションについて酒井選手から指導いただきました。その後、両選手を交えた紅白戦では、試合中のプレーや相手チームの動きを先読みし攻撃する方法など実践的な指導をいただきました。また、紅白戦終了後には、バレーボールに取り組む姿勢や強い気持ちを持ってプレーすることが結果に繋がるなどの話も伺うことができました。

練習後には質問タイムがあり、両選手の大学時代の話や、

世界で活躍した選手ならではの話も聞くことができ、部員達も大いに刺激を受けたようで、参加した部員からは、「加藤選手、酒井選手に指導してもらえて本当に嬉しかった。」「加藤選手の打った球が重くてビックリした。」「いつもと違う練習ができて、とても刺激になった。」「頭を使った練習がよかった。」などの声が聞かれました。



歌を通して献血を呼びかける 女子大生デュオがインディーズデビュー!

情報通信学科4年の森野紘美さんが、安田女子大学4年の山本佳代子さんとのアコースティックギターデュオ「小吉」でインディーズデビューを果たしました。昨年12月に広島県赤十字血液センターが主催した年末献血キャンペーンに向け作曲した『見えないキズナ』を含む2曲からなるCDを今年の9月10日に発売。所属するレコード会社のインターネットなどで販売しています。

『見えないキズナ』の作曲にあたり、イメージを膨らまそうと広島市内にある献血ルーム「もみじ」を訪問、そこで若くして白血病と闘い20歳で亡くなった男性の手記に衝撃を受ける。そこには献血者への強い感謝と、生きることの喜びが伝わっていました。「このことを、いま生きている人に伝えたい!」。そうして出来上がったのがこの曲です。当初、CD化の話はありませんでしたが、キャンペーン後にレコード会社が彼女たちの熱心な活動に目を留め、デビューが決まりました。より強くメッセージを発信できるように曲を練り直し、レコーディングを経て遂にデビュー。

森野さんは、「私たちが当たり前手にしている日常は決して当たり前ものではない。苦しいことも悲しいことも生きているからこそ手に入れることができる。生きているからこそ乗り越えていける。今ここに自分が存在していることの「奇跡」を彼の手記を通して気づかせてもらった。そのことを今生きる全ての人に伝えていきたい。」と力強く話していました。今後も広島市内を中心に、ライブ活動を続ける予定です。



活躍する卒業生



学生レポーターが広国大卒業生を密着取材!!



学生レポーター
白枝慎吾さん

1. 現在の仕事の内容を教えてください

ハウスメーカーの営業として、お客様の要望や予算に耳を傾け、住宅の案内だけでなく住まい作りのアドバイスをしています。住宅展示場におけるお客様の案内や戸別訪問を通じてお客様のニーズを的確にとらえ、お客様一人ひとりの要望に応えられるよう努めています。「家は一生に一度の買い物」と称されますが、住む人、暮らす人が未永く快適に過ごせるように、打ち合わせの時から家を建てた後もお客様とは一生のお付き合いをさせていただこうと考えています。

2. 仕事の「やりがい」とは、どんなときに感じますか?

お客様の要望にお応えできる提案を提示させていただき、ご契約いただいたときに仕事に対する充実感を感じます。お客様とお話させていただく中で「安心」と「信頼」を得ることのできる営業を心がけ、打ち合わせ時の平面図からニーズに合わせた形になるまで、お客様に納得いただけるよう仕事に励んでいます。

3. 今、目標や夢がありますか?

家は、住む方それぞれの家族構成やライフスタイル、価値観等によって間取りひとつから変わってくるので、お客様が何を求められているのかを察知し、適切なアドバイスやご提案ができるよう自身のスキルを上げなければと思います。将来、自分が担当させていただいた家をたくさん建てさせていただければ幸いです。

4. 学生時代の学びや経験は今の仕事に役立っていますか?

課外活動において、体育会副部長や剣道部主将を務めることで組織の動かし方や人との接し方について学ぶことができたと思います。営業というお客様との対応の中では、知識だけでなく細かい気配りやマナーなどが重要です。学生時代に課外活動を通じて経験したことは、今現在の仕事に大いに役立っていると思います。

5. 本学の後輩へメッセージをお願いします

学生生活を通じていろいろな経験をして欲しいと思います。その経験は自分自身の財産となり、時として仕事をする中で役に立つこともあります。今という瞬間を大切に経験できることはたくさん経験し、悔いのない学生生活を過ごしてください。

【学生レポーター】

仕事に対する熱意や充実感を本学の卒業生の方からたくさん聞かせてもらい、将来について本気で考えさせられました。「自分から積極的に色々なことに取り組む」ということを中島さんの話の中から学ぶことができ、私も将来、先輩のように自分の仕事に充実感や達成感を感じ、そして自分の生き生きした姿を周囲にも感じてもらえるようになりたいと思いました。

白枝 慎吾(感性デザイン学科2年)

ナカシマ アツリ
中島 篤功さん

(2007年3月感性情報学科卒業)
大和ハウス工業株式会社 広島東支店勤務
金融検定協会認定住宅ローンアドバイザー

フクナガ アイコ
福永 愛子さん

(2007年3月看護学科卒業)
独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・
中国がんセンター勤務 看護師

1. 入社のきっかけと仕事の内容について教えてください

在学中から、緩和ケアに興味があり、地元である呉市周辺で緩和ケア病棟がある総合病院での就職を希望しました。総合病院では、高度な医療設備のもと様々な病状を抱える患者様それぞれのレベルに合わせた治療を行うことができ、興味のある緩和ケアについても深く学べると考え、現在の病院を選びました。現在は、消化器内科の病棟に配属され、入院患者の看護を行っています。

2. 仕事の「やりがい」とは、どんなときに感じますか?

患者様に「ありがとう」と感謝の言葉をかけられたときです。その言葉に励まされ、自分自身「がんばろう」という気持ちにさせられます。そうやっていただけるためにも、患者様の希望や気持ちを察知し、対応することを心がけています。患者様によっては、話相手になるだけでも喜んでいただけることもあります。ですから、仕事に対して技術の向上に努めるだけでなく、患者様の不安や緊張感を和らげるためのコミュニケーション能力や関わり方についても大切にしています。

3. 学生時代の学びや経験は今の仕事に役立っていますか?

大学の先生をはじめ、先輩や友人を通じて、様々な人と出会い、物の考え方や視野が広がりました。特に2年生で体験したオーストラリア(メルボルン)での国際看護実習は、今でも貴重な体験となっています。この体験を通じて、人とのつながりの大切さを知ることができました。

4. 本学の後輩へメッセージをお願いします

浅い深いは関係なく、視野を広げる意味で学生生活を通じて、いろいろな経験をしてみるのが大事だと思います。大学では自分のペースで学ぶことができ、そのゆとりの中で自身を磨く時間はたくさんあると思います。「やりたい!」と思ったことは行動すること。その時感じたことが後に生きてくることもあるし、良好な人間関係を構築する手助けにもなると思います。

【学生レポーター】

OGの方の臨床での面持ちや看護に対する姿勢は、卒業して2年目だとは思えないほど、圧倒されるものでした。看護師としてもっと成長したい、患者様に緩和ケアを提供するというをより追究したいと話されている姿を見て、向上心を持つことの重要性を感じました。看護学生として、学生生活を送るうえでのアドバイスを頂いたので、これから、より積極的に様々なことに挑戦し、学生のうちでしか出来ない経験を積み、臨床現場に立てよう努めていきたいです。

平田 祐加(看護学科2年)

初めて臨床で働くOGの方の話を聞くことができ、今自分がやらないといけないことに気づくことができました。大学に入る前から自分がやりたい分野が決まっていて、今でもそれを目標に努力されていたのですごかったです。学校の実習以外でもボランティア活動などに参加して、たくさんの人と関わってみたいといよとアドバイスしてくださったので、大学生活で時間があるうちに積極的にいろいろなことに参加してみようと思いました。

宗田 知佳
(看護学科2年)

学生レポーター
平田祐加さん(左)
宗田知佳さん(右)





進化する大学祭!!

～今年も燃えた大学祭～

【開催日】東広島キャンパス 10月25日・26日 呉キャンパス 11月1日・2日
 【テーマ】東広島キャンパス 彩 10th(さいてん) 呉キャンパス 新 HERO(新ヒーロー)



東広島キャンパスは第10回、呉キャンパスは第7回を迎えた大学祭。東広島キャンパスでは、10月25日(土)・26日(日)に開催しました。今年はお笑い芸人『笑い飯』『ポールボーイ』をゲストとして招いてのお笑いライブやその場で作って食べられる全長40mのロング巻き寿司をはじめ、課外活動団体およびゼミグループによる発表や模擬店・フリーマーケットなどに、大学周辺地域をはじめ学外から多数お越しいただくとともに、ご協力をいただき大いに盛り上がりました。また、26日には、大学祭特別企画として市民交流音楽祭を開催しました。1部では、山本潤子氏(元『赤い鳥』、『Hi-Fi Set』)を招いて「卒業写真」「翼をください」「竹田の子守唄」などの名曲を含め17曲が披露されました。第2部では、まず、本学の吹奏楽部が3曲、弦楽アンサンブル部と呉弦楽合奏との合同で3曲を演奏しました。その後、全国大会での優秀な成績を誇る東広島市内の中黒瀬小学校マーチングバンドクラブ、黒瀬高等学校和太鼓部「養訓(やなくに)」太鼓、黒瀬中学校吹奏楽部のハイレベルな演奏に、会場からは大きな拍手が贈られ、感動的な音楽祭となりました。

呉キャンパスでは、11月1日(土)・2日(日)に開催し、ステージ上では課外活動団体の発表や「禁煙推進・マナー向上キャンペーン」のキックオフセレモニーなど様々な企画が行われ、ステージ以外でも菓子家茶道部・上田宗箇流茶道部によるお茶会、写真部による写真展を行いました。今年初めて行われたカラオケ大会では、エグザイルを歌った薬学部グループ「ハマザイル」が優勝し、工業高等専門学校で行われる大学生歌声1決定戦に出場します。また、恒例となったチャリティービンゴや大抽選会では、20型液晶テレビやディズニーランド&シーの宿泊券などが近隣住民の方々に当選しました。キャンプファイヤーは、11月の寒さに温かい炎が立ち昇り、大学祭は大盛況のうちに終わりました。



SSPプログラム2008年度認定企画 「中間報告会」を開催!!



10月28日(火)29日(水)にSSPプログラム2008年認定企画「中間報告会」が各キャンパスで開催されました。2008年度SSPプログラムは、4月から公募し、15企画の応募の中から審査委員会を経て8企画が認定されました。また、「中間報告会」ということで、どの団体も途中経過の報告でしたが、それぞれの活動が計画どおり進行しているようで、今後どのように進んでいくのか大いに期待がもてる報告会となりました。

【東広島キャンパス】

- プロジェクト名: 重度身障者自立支援機器の開発プロジェクト
代表者: 臨床工学科4年 田邊敬悟さん
奨励金: 400,000円
- プロジェクト名: スポーツリハビリテーション支援
代表者: 理学療法学科2年 福岡美佑貴さん
奨励金: 350,000円
- プロジェクト名: 子どもたちに安全な遊具の作成プロジェクト
代表者: 医療福祉学専攻2年 竹内綾子さん
奨励金: 250,000円



【呉キャンパス】

- プロジェクト名: 乃美尾小学校図書室改装計画
代表者: 住環境デザイン学科4年 宮崎貴大さん
奨励金: 150,000円
- プロジェクト名: 楽しく創ろう工作教室~キミのラクガキが動き出す!~
代表者: 機械ロボティクス学科2年 中川真さん
奨励金: 450,000円
- プロジェクト名: 呉みかんの島の高齢者と語り・学び 夢を知る
代表者: 看護学科2年 福本裕平さん
奨励金: 329,584円
- プロジェクト名: 地域子育て支援すこやか パート
代表者: 看護学科3年 水津あすかさん
奨励金: 350,000円
- プロジェクト名: おくすりをみんなで楽しく知ろうプロジェクト
代表者: 薬学科4年 吉原愛美さん
奨励金: 144,600円

中国新聞ホームページでキャンパスリポーターが活躍中!

10月1日から中国新聞のホームページに、中国地方の各大学の学生が、キャンパスリポーターとなり、大学内外での出来事取材情報発信する「キャンパスリポート」のページができました。本学からは、轟あゆみさん(コミュニケーション学科3年)、篠田菜津美さん(臨床心理学科2年)、後藤圭美さん(看護学科3年)、五十嵐俊紀さん(機械ロボティクス学科1年)の4名がキャンパスリポーターとして、取材を行っています。現在ホームページには、他大学との平和学習を行った記事や酒まつりのボランティアの記事が掲載されています。また、新聞紙面に掲載されることもあります(新聞は、毎月第2、第4土曜日に掲載予定)。

記事を書いた轟さんは、「読む人が、想像できるような文章を書くようにと指導していただいておりますが、文章だけで伝えることはとても難しい。それだけに載った時には達成感がある。これからも機会を逃さず、少しでも広国大のことを伝えていきたい。」と話していました。ぜひ皆さんも中国新聞ホームページ内のキャンパスリポートをご覧ください。

また、自分の取り組んでいることを中国新聞で取り上げてもらいたい!という方は、ぜひお知らせください。キャンパスリポーターが取材に伺います。これからの活躍をぜひ楽しみに!

<http://blog.chugoku-np.co.jp/fureai20/>



コミュニケーション学科3年 轟あゆみさん
臨床心理学科2年 篠田菜津美さん
看護学科3年 後藤圭美さん
機械ロボティクス学科1年 五十嵐俊紀さん

「禁煙推進・マナー向上」キャンペーンを実施!



5月に引き続き、11月を「禁煙推進・マナー向上」の強化月間とし、東広島・呉の両キャンパスでキャンペーンを実施しました。

11月1日に呉キャンパス、11月4日に東広島キャンパスでキャンペーン実施のセレモニーを開催し、学生と教職員のみなさんがパトロールユニットを結成して、禁煙の推進とマナーの向上を目指して、各キャンパス内を巡回しました。

「禁煙推進・マナー向上」ロゴマークの優秀作品が決定!!

禁煙推進・マナー向上WGでは、禁煙推進・マナー向上の一環として7月31日までロゴマークを募集し、禁煙推進24件、マナー向上20件の作品の応募がありました。このたび、厳正なる審査の結果、以下のとおり優秀作品を決定し、11月4日の東広島キャンパスでのセレモニーで表彰しました。

特選



感性デザイン学科2年 吉崎純那さん

金賞



感性デザイン学科2年 森園和美さん

銀賞



感性デザイン学科3年 岩本健太さん

銅賞



感性デザイン学科1年 坂本良佑さん

特別賞



どちらの肺が好きですか?
医療福祉学科1年 松田享久さん

・たくさんのご応募ありがとうございました。

禁煙推進・マナー向上WG

学長表彰式(課外活動賞)開催

課外活動で優秀な成績を残すなどの功績があった学生もしくは団体を表彰する学長表彰式(課外活動賞)が東広島・呉両キャンパスで行われました。



広島県学生剣道大会で剣道部女子団体が準優勝!

6月8日(日)に行われた第2回広島県学生剣道大会において、女子団体戦決勝で広島大学と対戦、接戦の末に敗れ準優勝となりました。

陸上競技部の金口瑛典くん(理学療法学科3年)が男子100mで第2位、200mで第1位。男子100m、200m自己新で全国大会へ!

7月5日(土)~6日(日)に行われた広島県陸上競技選手権大会において、男子100mで第2位、200mで第1位となりました。なお、100m、200mともに第77回日本学生陸上競技選手権大会の標準記録をクリアしたため、9月12日(金)~14日(日)に国立競技場で行われた本大会に出場しました。結果は、残念ながら健闘空しく、100m、200mともに予選敗退となりました。

陸上競技部の金口瑛典くん(理学療法学科3年)が男子200mで第1位!

8月23日(土)~24日(日)にコカ・コーラウエスト広島スタジアムで行われた第62回中国五県陸上競技対抗選手権大会において、男子200mで第1位となりました。

陸上競技部の金口瑛典くん(理学療法学科3年)が「チャレンジ!おおい国体」へ出場!

9月27日(土)~10月7日(火)まで大分県で行われた国民体育大会陸上競技成年男子200mに出場しました。結果は、残念ながら予選敗退となりました。

柔道部の越智良輔くん(医療経営学科4年)が全国大会へ!

8月30日(土)に愛媛県武道館で行われた平成20年度中国四国学生柔道体重別選手権大会男子81kg級において、第3位となり、10月11日(土)~12日(日)に日本武道館で行われた平成20年度全日本学生柔道選手権大会男子81kg級へ出場しました。結果は、残念ながら初戦敗退となりました。

呉空手道部の横田秀雄くん(コミュニケーション学科3年)が空手道で全国大会へ出場!

6月29日(日)に広島県府中市立総合体育館で行われた第5回中国・四国地区空手道選手権大会組手競技成年男子の部において、第2位となり、10月12日(日)に大阪府立体育会館で行われた第46回全国空手道選手権大会に出場しました。結果は、残念ながら初戦敗退となりました。

惜しくも第2位、将棋の山崎由太郎くん(薬学科4年)

6月22日(日)に行われた第51期中国将棋名人戦兼第62回全日本アマチュア名人戦の広島県西部予選大会において、惜しくも第2位となりました。

中国将棋名人山崎由太郎くん(薬学科4年)が初防衛!

8月2(土)・3日(日)に行われた第51期中国将棋名人戦三番勝負において、現名人の山崎くんは、挑戦者を2勝1敗で下し、見事初防衛に成功しました。



「関西薬学生連盟準硬式野球大会」で個人賞を受賞!

8月13日(水)~18日(月)大谷公園野球場(滋賀県)などで開催された「平成20年度関西薬学生連盟準硬式野球大会」に出場した呉薬学部準硬式野球部は、6チーム中3位となり、2名が個人賞を受賞しました。



薬学科1年 今中研人さん
薬学科1年 坂元昂平さん

個人賞を受賞したのは、薬学科1年の坂元昂平さんと同じく薬学科1年今中研人さん。坂元さんは、ベストナイン・ホームラン王・打点王のトリプル受賞、今中さんは最優秀投手賞を受賞し、閉会式で表彰状と副賞が授与されました。

坂元さんは、「今大会の成績には驚いている。日頃の練習の成果が発揮できた」と話せば、今中さんは「投球中は何度か崩れかけたが、周りが声を掛けてくれ気持ちの入ったピッチングができた」と胸を張った。ただ、チームは3位にとどまっただけに最後は共に、「来年はチームが優勝できるよう頑張りたい」と飛躍を誓っていました。

「第1回学生ボウリング甲子園全国大会」に学生チームが出場!

全国でボウリングなどのアミューズメントを核とした複合型レジャー施設を経営するROUND 1(ラウンドワン)が主催する「第1回学生ボウリング甲子園全国大会」に、本学学生チームが出場しました。出場したのは、情報通信学科4年の真木潤さん・中村彰秀さん・多村幸二さん、住環境デザイン学科3年藤原誠さんの4人。店舗ごとに開催される年間店舗チャンピオン決定戦で見事優勝、店舗チャンピオンに輝き全国大会への出場権を得ました。

8月27日(水)に福岡市博多区で開催された全国大会では、全国から81チームが参加。予選突破はなりませんでしたが、本人たちにとっては貴重な経験となったようです。



チームの代表者である真木さんは、「大きな大会への出場は初めてのため、雰囲気に飲まれ実力を発揮できず残念。しかし、全国大会に出場できたことは大きな自信になった。今後も練習を重ね、大舞台で活躍したい」と意気込んでいました。

左から情報通信学科4年真木潤さん・中村彰秀さん・多村幸二さん、住環境デザイン学科3年藤原誠さん

長寿建築展開催される

7月7日(月)から7月25日(金)まで、呉キャンパス3号館3階のギャラリー33において、「長寿建築展」が開催され、多くの教職員・学生が訪れました。この展示会は、住環境デザイン学科の川本明生先生が、一昨年に横浜と東京で開催され、2000人を超える来場者があった写真展から、作品を50数点選び、それぞれの解説文と共に展示したものです。

なお「長寿建築」とは、明治から昭和の初期に建設された、今尚現役の建築物のことを言い、長年建築の仕事に携わってきた同先生が、折りにふれカメラで撮影してこられたものを集めたものです。



「2008年度 日本文化体験会」開催!!



外国人留学生と日本人学生・教職員との親睦を深めることを目的に、『2008年度 日本文化体験会』を9月27日(土)に実施しました。

留学生11名、日本人学生ボランティア7名、教職員5名で広島県三次市に行ってきました。陶芸体験では、初めて陶芸造りに挑戦した学生も多く、在学中の記念として思い出の作品となりました。

昼食は、地元の新鮮野菜をふんだんに使ったパーベキューや、新米でにぎったおむすびを頬張りながら、地元の方々との交流を楽しみました。三次市出身の近代日本を代表する歌人である中村憲吉旧居の見学では、歴史を感じさせる建物の造りや、その頃の時代背景についてガイドの方から説明を受け、学生たちは訪問記録書に名前を残してきました。

今年2回目となる交流イベントは、日本文化を共有することによりますます国際交流の輪を広げることができました。



小学校総合学習 ボランティア参加!!

「様々な国の人たちとの触れ合い体験を通じて、こどもたちのコミュニケーション能力の育成をはかりたい」という小学校からの要請により、9月25日、呉中央小学校において本学の外国人留学生と小学5年生児童(82名)との交流会が開催されました。

医療福祉学科3年 井上スティーブンさん(アメリカ出身)と同学科1年 徐超さん(中国出身)が参加し、英語と日本語で自己紹介を行うと児童たちは外国人留学生の日本語の上手さに驚いていました。

また、児童たちは留学生に興味津々で日本に来た理由や将来の夢について質問をするなど、会の終わりに行った中国語と英語のじゃんけん大会では、児童たちはすぐに中国語と英語のグー、チョキ、パーやじゃんけんのかけ声を覚え、とても盛り上がりました。



第1回健康増進講演会を開催

「たかが“いびき”されど“いびき”」

～知って得する睡眠時無呼吸症候群～

10月21日(火)に東広島キャンパス、11月25日(火)に呉キャンパスで、健康増進を目的とした講演会を衛生委員会と保健室が共催で実施しました。講師は、保健室長の中島正光先生(臨床工学科教授)。

たかが“いびき”ですが、安心できない病気の可能性もあることなどわかりやすい内容でした。この講演会には、両キャンパス合わせて約70人の参加があり、講演後、活発な質疑応答が交わされました。



2008年度 学生短期海外研修

学生短期海外研修は、2006年度からスタートした海外留学を支援するプログラムです。

学生自身が研修内容を企画・提案して実行することで、自己実現の機会を持つことが大きな目的です。この研修を希望する学生は、研修地、研修内容などに関して調べ、企画書をまとめ、国際交流センターに提出します。その後、書類審査と面接にて学内選考が行われ、採用者に大学から50万円を限度として奨学金が支給されます。

2008年度も夏休み期間を利用し、9名の学生が海外研修(アメリカ、カナダ、ニュージーランド、韓国)に行ってきました。学生たちは、期待と不安を抱えながらそれぞれの国へと旅立ちましたが、帰国したときには短い海外研修にもかかわらず精神的にも大きく成長していました。

帰国後、11月17日に行われた学生短期海外研修報告会では、研修の様子や成果を報告し、海外で培った経験をもとにそれを今後どのように生かしていきたいか発表しました。



健康教室開催「たばこの害」

11月11日(火)から4日間、呉キャンパス保健室において健康教室を開催しました。

禁煙推進・マナー向上強化月間と並行して、「たばこの害」と題して開催しました。

健康教室では、喫煙による健康被害を学び、さらに参加者に対して喫煙状況のある程度調べることのできる呼気中の一酸化炭素濃度の測定を体験してもらいました。楽しく禁煙の重要性を知ってもらえればと思っています。

参加者からは、健康被害の実態を知り喫煙の怖さを実感したという声や徐々に喫煙本数を減らしていきたいなどの前向きな感想が挙がりました。



広島国際大学校友会総会・懇親会開催

みなさん、広島国際大学校友会ってご存知ですか?校友会とは広島国際大学の同窓会組織のことです。

その広島国際大学校友会の総会・懇親会が10月25日(土)に、広島市内のホテル(広島ガーデンパレス)で開催され、教職員等の出席者も含め総勢69名の盛大な会となりました。

恩師を囲み、懐かしい友人とともに談笑の輪が広がる中、抽選会を催し数々の豪華景品の当選に盛り上がりしました。

現在、5,000名を超えるOB・OGの方が社会で活躍されています。卒業後には、総会・懇親会に積極的に参加して、広国大卒業生の輪を広げましょう!!



CAMPUS 掲示板

2009年度一般入試

入試センターから「2009年度一般入試」についてお知らせします。

みなさんのご家族、またはお知り合いの方で本学に興味をお持ちの方がおられましたら、お気軽に入試センターまでご連絡ください。大学案内等の資料や入学案内(願書)を無料で送付させていただきます。

【2009年度一般入試日程】

入試区分	募集学部	試験(選考)日	出願期間 (郵送のみ。消印有効)	合格発表日
一般入試	全学部	1月24日 1月25日 試験日自由選択制	1月7日～ 1月19日	2月4日
		2月7日 2月8日 試験日自由選択制	1月7日～ 2月2日	2月18日
		3月14日	2月18日～ 3月9日	3月21日

【お問い合わせ先】

広島国際大学 入試センター ☎0120-55-1659

あなたも『県人会』に入りませんか？ 『県人会』を立ち上げませんか？

広島大に沖縄・鹿児島・大分・福岡・山口・徳島・高知県人会が発足！困ったときは県人会！！

みなさんは、「県人会」という組織を知っていますか。「県人会」は、各年次や各学部・学科および大学院に分かれて在学している同県人同志で組織している会です。その「県人会」が次々に発足しています。身近な所に同郷の人がいるにもかかわらず、気付かないことがよくあります。ぜひ、この県人会に入会してそれぞれの懐かしいお国言葉で語り合いながら、交友の輪を広げてみてはいかがでしょうか。県会に入会したい方、新しく発足させたい方を大学でバックアップしていきます。来年4月以降には、後援会のご協力などを得て、経済的支援を行っていく予定です。発足した県人会は、掲示にてご案内しておりますので、記載の連絡先(代表)まで遠慮なく連絡を入れてみてください。未発足の県人会を新たに立ち上げたい学生は、下記窓口にごしどしお問い合わせください。

【問い合わせ窓口】

学生課：0823-70-4536 学務課：0823-73-8351

飲酒運転厳禁！！

お酒を飲んだら運転しない。あたりまえのルールを守ろう！！

昨今、新聞・マスコミ等でも取り上げられているとおり、飲酒運転をする人が後を絶たず、悲惨な交通事故が発生しており、今や全国的な問題となっています。「少ししか飲んでいないから大丈夫」「そんなに酔っていないから大丈夫」「警察官に見つからなければ良い」と安易に考えてはいけません。飲酒運転および未成年の飲酒や飲酒の強要などは絶対にしないでください。

飲んだら運転しない
運転するなら飲まない
運転する人には飲ませない

ソーシャルネットワーキングサイト (ミクシィ等)の適切な利用について

インターネットは非常に便利なツールですが、利用に伴うトラブルも実際に起きています。不適切な表現・記述などにより、社会的問題にまで発展し、他大学では逮捕者まで発生しているという現実もあり、残念ながら、本学でも懲戒処分を受けた学生がいます。ブログや掲示板への書き込みは、多くの人の目に触れることを意識し、特段の慎重さが重要です。何事も法令を遵守し、良識ある行動が求められています。

中国・四国地区オープンセミナーのお知らせ！！

～広島大で中国・四国地区最大級の
就活イベントが開催されます！～

「中国・四国地区オープンセミナー」の開催についてお知らせします！このイベントは、食品、金融、マスコミ、メーカーなど皆さんが一度は耳にしたことのある超有名・優良企業が一堂に会社説明会を行う中国・四国地区最大級の就活イベントです。今年はこのイベントが、なんと広島大で開催されるんです！！当日は、中国・四国地区の大学生約2000名が広島大に集結します。業界研究に絶好の機会ですので、3年次生はもちろん、企業就職希望の方は、学年を問わずぜひ参加してくださいね！

1. 日 時：2008年12月13日(土)10:00～17:00
2. 場 所：広島国際大学 東広島キャンパス
3. 対 象：企業就職希望者(1・2年生の参加も大歓迎です!!)
4. 参加企業：岩谷産業(株)、花王カスタマーマーケティング(株)、キリンビール(株)、積水ハウス(株)、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)損害保険ジャパン、大日本印刷(株)、タカラスタンダード(株)、中国電力(株)、西日本旅客鉄道(株)、日本放送協会(NHK)、(株)日本旅行、ノバルティスファーマ(株)、(株)フジ、富士通(株)、(株)ベネッセコーポレーション、マツダ(株)、(株)三井住友銀行、明治製菓(株)、楽天(株)、ヤマト運輸(株)、(株)リクルート【五十音順】

5. 備 考：お問い合わせ・申込は、キャリアセンターまで。

大麻・覚せい剤使用・所持等は犯罪です！

最近、他大学において大麻所持による逮捕者が相次ぎ、乱用者が成人層から青年層、中学生にまで広がっています。大麻・覚せい剤の所持・乱用は犯罪となり、大変厳しい罰則を受けます。また、大麻のみならず薬物の所持・乱用は法律で固く禁じられています。一度だけという軽い気持ちで、一度しかない人生を狂わせてしまいます。見知らぬ人や友人から勧められても、自分の体や心を守るために固く断るようにしましょう。みなさんの良識のある行動を強く望みます。



交通事故多発！

交通事故が多発しています。ちょっとした不注意や油断から事故は起こります。これから年末になり、道路も混雑してきます。時間にゆとりを持って行動することも事故防止につながります。最近、構内で原付バイクでの二人乗りやヘルメットをかぶらず運転する姿が見受けられます。このような行為は死につながる大変危険な行為です。日頃から交通ルールを遵守し、安全運転を心がけましょう。

また、運転時に運転免許証を携帯していない人がいます。道路交通法では自動車等を運転する時は、免許証を携帯し、警察官から免許証の提示を求められたときは、提示しなければならないと義務づけられています。少しの距離だからといって、事故が起こらないわけではありません。常に免許証は携帯しましょう。



表紙紹介

ナカノ ユウイチ
中野 裕一さん
心理科学部
臨床心理学科2年生

今春、念願であった中国大学バレーボールリーグ戦(春季リーグ)にて1部昇格を果たした男子バレーボール部。秋季リーグでは、1部リーグで4位という成績を残しました。主将を務める中野くんは、「来年、新チームでも良い成績が残せるよう頑張りたいです！」と抱負を語ってくれました。現在、部員・マネージャーを募集中とのこと。